

## 2022年度 神戸ベルエベル美容専門学校 ブライダルスタイリスト科 カリキュラム

科目		1年次	2年次	3年次	1～3年計	実務経験者が 行う授業	
必修科目	ビューティ	ヘア	183	72	156	411	×
		メイク	147	50	66	263	×
		カウンセリング	32	30	0	62	×
		トータル	0	0	98	98	×
	衣装	洋装	54	0	0	54	○
		和装	189	72	90	351	○
		アテンド	21	32	0	53	○
	知識	ブライダル知識	21	0	56	77	○
		フラワー	6	6	0	12	×
		パーソナルカラー	0	0	50	50	×
		ユニバーサルマナー	8	0	0	8	×
		マナー	12	6	51	69	×
		SNS	0	0	48	48	×
	サロン		40	402	104	546	×
体験		0	0	24	24	×	
選択科目	HR		223	227	235	685	×
	マナー		10	10	10	30	×
	就職		18	81	0	99	×
	選択	研修	30	0	0	30	×
合計		994	988	988	2970	—	

基本情報			
講義名	ビューティ(ヘア)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	183	72	156

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ブライダルにおけるヘアセットの知識・技術を重点に学習する。基礎から学び、お客様の要望に応えその人それぞれに似合うセットを提案し、それを具現化できるまでを当該授業にて学ぶ。
授業の到達目標	ヘアセットに関する基礎技術・知識の習得、日本髪技術・知識の習得、応用スタイル技術の習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
道具使い方・名称	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業において身だしなみについて説明</li> <li>ブラシ・コーム・ダッカール・ピン類・クランプ・ウィッグ(持ち方・扱い方・使い方の説明)</li> <li>実践</li> </ul>
ブロッキング	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭の各ポイントの説明</li> <li>スライスの分け方説明(テール、歯先での分け方)</li> <li>ダッカールの使い方、実践</li> </ul>
ホットカーラー	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホットカーラーの基本 使い方、スライスの理解 シェーブやステムの注意点 毛先の注意・逆巻き</li> <li>カーラー巻き 確認テスト</li> </ul>
ピン打ち	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピンの種類と使い分けについて</li> <li>平打ち、隠しピンの方法説明</li> <li>ピン打ちデモ・実践</li> </ul>
スタイリング剤の使用方法	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタイリング剤の種類と使用方法</li> </ul>
逆毛の立て方	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>逆毛の目的理解</li> <li>コームワーク・パネルステムについて説明</li> <li>デモ・実践</li> </ul>
毛たぼの作り方・使い方	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>毛たぼの役割について説明</li> <li>作り方説明・デモ・実践</li> </ul>
一束結び	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラシの使い方の復習</li> <li>ゴムの使い方説明・デモ・実施</li> <li>ネープP・バックP・ゴールデンPで一束レッスン実践</li> </ul>
面出し	39	<ul style="list-style-type: none"> <li>土台作り(ブロッキング～毛たぼ)</li> <li>右ネープ右サイド、左ネープ左サイドの説明・デモ・実践</li> <li>トップスライス・逆毛・毛先の処理の説明・デモ・実践</li> <li>トータル復習仕上りの強化</li> <li>確認テスト(面出し、カーラー巻き)</li> </ul>

具体的内容		
項目	時間	内容
ヘッドアクセサリーの付け方(ティアラ・クラウン・ベール)	1	・ピン打ち説明・実施 ・オニピン・ネジピン使用方法説明・実践
ネープシニヨン	17	・毛たぼの作り方・実践・ブロッキングの説明・実践 ・トップ・サイド・ネープの説明・実践 ・面、ピン打ち、バランスの確認 ・復習 タイム取り
かんざしの付け方	1	・付け方説明・実践 ・バランスの確認
アイロン技術	6	・コテ巻き、内巻き外巻き説明・デモ・実践 ・リバース巻きフォワード巻き、表面巻き説明・デモ・実践 ・波ウェーブ、前髪の説明・デモ・実践 ・ストレートアイロンの説明・デモ・実践
アレンジ	2	・編み込み説明・デモ・実践 ・フィッシュボーンの説明・デモ・実践
カールアップ	38	・毛たぼ作り、ブロッキングデモ、実践 ・抱き合わせデモ、実践 ・トップ部分のブロッキング、まとめ方デモ、実践 ・前髪のまとめ方、デモ、実践 ・カールの作り方、スタイルバランス ・仕上がり強化 ・タイム内での仕上りの強化 ・確認テスト
ヘッドアクセサリーの付け方	1	・ピン打ち説明・実践、オニピン・ネジピン使用方法説明・実践
アシスタント業務	2	・ヘルプの仕方・立ち位置の説明
トレンドヘア	44	・コテ巻きから仕上げまで(2スタイル) ・確認テスト
メンズヘアセット	6	・ドライ、ブローの知識、シルエットの理解、前髪立ち上げ ・ストレートアイロン仕上げ
参列ブロー	12	・ブロッキングの理解(カーラー巻き込み) ・バック、サイド、前髪のブローデモ、実践 ・全体バランス強化 ・タイムアップ ・確認テスト
クイックチェンジ	18	・面出し手順のデモ、実践 ・仕上がり強化 ・ハーフアップ手順のデモ、実践 ・確認テスト
人頭似合わせ	41	・似合わせの定義(カールアップ)、実践 ・ラフ案記入 ・相モデル ・仕上りの強化 ・カウンセリング ・造花の付け方 ・指示書の作成、指示書を基に相モデルにて実践 ・確認テスト
ヘッドアクセサリーの付け方(人頭)	2	・ピン打ち説明・実践、オニピン・ネジピン使用方法説明・実践 ・ティアラ、クラウン、ベール

具体的内容		
項目	時間	内容
新日本髪	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新日本髪について説明</li> <li>・毛たぼの作り方説明・実践</li> <li>・ブロッキングの説明・実践</li> <li>・髷の説明・実践</li> <li>・鬢(左右)説明・実践</li> <li>・前髪説明・実践</li> <li>・まげ説明・実践</li> <li>・トータルレッスンタイム強化</li> <li>・かんざしの付け方(びらかん)説明・実践</li> <li>・確認テスト</li> <li>確認テスト結果を基にテスト対策</li> </ul>
面だし復習	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロッキング～土台作り復習</li> <li>・左右ネープ抱き合わせ復習</li> <li>・左右サイド抱き合わせ復習</li> <li>・トップ～トータル仕上げまで復習</li> <li>・面だしトータル復習 タイム取り</li> <li>・確認テスト</li> </ul>
模写ヘア①	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタイル提示、ラフ案</li> <li>・ラフ案記入、ラフ案を基にスタイルの作成</li> <li>・コテ巻き込み(チェック、手直し)</li> <li>・確認テスト</li> </ul>
試験対策	90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験対策</li> <li>弱点強化、タイムアップ</li> </ul>

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ビューティ(メイク)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	147	50	66

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	メイクに関する基礎的な知識・技術を1から学習し、そこから応用的なメイクの知識技術を学ぶ。ブライダル特有のブライダルメイクや和装に合わせた水化粧の技術まで、就職後即戦力として通用する技術を学習し身に付ける。
授業の到達目標	メイクに関する基礎知識・技術の理解と習得、ブライダルメイク・イメージメイクの技術習得、メイクカウンセリングに関する知識・技術の習得、水化粧知識・技術の習得、応用メイクの習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
道具の使い方 道具の名称	3	授業するにあたって身だしなみ説明 (髪の毛、ネイル、アクセサリ、靴、まつげパーマ・エクステ) 教材の破損の有無確認・名前シールを貼る・道具の名称・道具の使い方
化粧品の定義	1	化粧品の定義、スキンケアの必要性
皮膚の構造	2	皮膚の構造と働き 3ステップによるスキンケアシステム、スキンケアテクニック
クレンジング・スキンケア 技術	20	・ポイントクレンジング リップクレンジング、アイクレンジング ・フェイシャルクレンジング オイル塗布、オイル乳化、ふき取り、ティッシュオフ ・リップクレンジング～ティッシュオフまでのトータル ・ローショントーンング、クリームトーンング ・確認テスト
ベース技術	20	・アンダーベースの塗り方 ・ファンデーションの塗り方 ・コンシーラーの説明・塗り方 ・フェイスパウダーの塗り方 ・確認テスト(ローショントーンング～ハイライト・ローライト)
ポイントメイクの基本 ナチュラルメイク	3	・ポイントメイクが与える印象 ・ナチュラルメイクとは
アイブロウ	6	・ハードフォーミュラの削り方 ・理想的な眉のプロポーシオン、眉の描き方(ナチュラル)
アイシャドウ	6	・ブラシの持ち方 ・アイシャドウの取り方 ・アイシャドウの塗り方
アイライン ビューラー マスカラ	6	・アイラインの引き方 ・ビューラーの使い方 ・マスカラの塗り方(上下)
チーク リップ	4	・チークの入れ方 ・リップの塗り方

具体的内容		
項目	時間	内容
スキンケア技術 ～ リップ	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トータル手順確認・タイム計測 スキンケア～リップ</li> <li>・確認テスト</li> <li>・確認テストの結果をもとにポイントメイク強化</li> </ul>
理想の顔型 判断方法・修正技術	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔型の特徴を理解する</li> <li>・判断方法</li> <li>・理想の顔型を理解する</li> <li>・ローライト・ハイライトで顔型修正を理解する デモ⇒実践⇒チェック⇒交代</li> </ul>
ブライダルメイク	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブライダルメイクの定義 WDメイク・CDメイクのイメージを理解する イメージ別のブライダルメイクを理解する</li> <li>・ブライダルメイクの技術 ベースメイクの作り方 アイブロウの描き方 アイメイクの仕方 チーク・リップの描き方 デモ⇒実践⇒チェック⇒交代</li> <li>・復習</li> </ul>
イメージメイク	65	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージメイクの定義、イメージ別の色味・方法の理解</li> <li>・イメージメイク【クール】【フェミニン】【エレガント】【キュート】の方法</li> <li>・モデルに合わせたイメージメイク</li> <li>・確認テスト</li> <li>・復習</li> </ul>
撮影用メイク	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影用メイクとは、普段メイクとの違い、撮影用メイク方法</li> <li>・スキンケアからフルメイク(相モデル)</li> <li>・撮影</li> </ul>
模写メイク	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模写メイクの方法の理解・実践</li> <li>・確認テスト</li> <li>・復習</li> </ul>
ボディメイク技術	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刷毛の使い方</li> <li>・ケーキファンデーションの使い方・塗り方</li> <li>・腕・手・首の塗り方、実践</li> </ul>
水化粧	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水化粧の知識 和装メイク(水化粧)とは 洋装メイクと和装メイクの違い</li> <li>・水化粧の技術の習得 道具の説明・使い方 ローショントーンニングの仕方、スティックファンデーションの塗り方 チークの入れ方 フェイスパウダー(おしろい)の塗り方 デモ⇒実践⇒チェック⇒交代</li> <li>・確認テスト</li> </ul>

成績

成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。
------------	---

基本情報			
講義名	ビューティ(カウンセリング)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	32	30	0

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ブライダルスタイリストとして必要なお客様の要望に的確に対応できるヒアリング力やその他基礎知識を学ぶ
授業の到達目標	基礎知識の習得、ヒアリングに基づく提案力の習得を目的とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
接客について	1	接客時の基本マナーの説明・理解、接客用語と敬語の説明・理解
基礎知識	4	カウンセリングの目的・流れ、ヒアリングの目的・理解・デモ・実践 提案の必要性、イメージワードの理解、イメージに合うドレスのラインの確認
カウンセリング実践	57	衣装小物、メイク、ヘアのカウンセリング～提案の実践 カウンセリングシートの使用法 衣装～ヘアメイクのカウンセリングの実践 ブーケのカウンセリングの実践 衣装～ヘアメイク～ブーケのカウンセリング実践 似合わせについて 確認テスト、強化

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ビューティ(トータル)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	0	0	98

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ヘア、メイクの授業で得た知識、技術を総合的に学び、トータルコーディネートの技術を学ぶ。お客様のイメージ別、衣裳別のコーディネートや似合わせ技術を習得する。
授業の到達目標	イメージ別トータルコーディネート、衣裳別トータルコーディネート、似合わせトータルコーディネートの習得を目的とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
イメージ別トータルコーディネート	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージ別の種類(イメージワードの確認・復習)</li> <li>【フェミニン】【エレガント】【クール】【キュート】イメージとその定義の確認復習</li> <li>ヘアメイクのラフ案の作成、ヘアメイク実践、撮影</li> <li>確認テスト</li> </ul>
ドレスライン・素材別トータルコーディネート	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドレスライン別、素材別イメージ</li> <li>ライン別イメージの確認、復習</li> <li>ドレスの素材のイメージの確認、復習</li> <li>Aライン、カラードレス</li> <li>ドレス、小物の選択、選択したドレスのイメージに合ったラフ案の作成</li> <li>ラフ案を基にヘアメイク実践</li> <li>ドレスフィッティング、小物装着</li> <li>写真撮影</li> <li>確認テスト</li> <li>白無垢</li> <li>水化粧風メイクの復習</li> <li>衣裳に合ったラフ案の作成</li> <li>ラフ案を基にヘアメイクの実践</li> <li>白無垢 着付け、髪飾りの装着、写真撮影</li> <li>色打掛</li> <li>色打掛・5点セットの選択、衣裳に合わせたラフ案の作成</li> <li>白無垢 着付け、髪飾りの装着、写真撮影</li> </ul>
披露宴会場別イメージコーディネート	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>披露宴会場別コーディネート</li> <li>披露宴会場のコーディネート別のイメージの理解</li> <li>会場に合った衣裳・小物の選択、衣裳に合ったラフ案の作成</li> <li>衣裳着付け、写真撮影</li> </ul>



具体的内容		
項目	時間	内容
模写スタイルの似合わせ 雑誌イメージ別似合わせ	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理想の顔型判断方法 顔型の特徴の復習、判断方法、理想の顔型の理解</li> <li>・理想の顔型修正技術 顔型修正方法の復習</li> <li>・模写スタイルの似合わせ 指定されたスタイルを基に似合わせラフ案の作成 ラフ案を基にヘアメイクの実践、タイム</li> <li>・雑誌イメージ別 イメージに合ったスタイルを基に似合わせラフ案の作成 ラフ案を基にヘアメイクの実践タイム 雑誌のイメージに合った写真撮影</li> </ul>

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	衣装(洋装)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	54	0	0

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
ブライダルスタイリスト・美容師・メイクアップアーティスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、結婚式場・ブライダルサロン・ドレスショップ・美容室等にて、ブライダルスタイリストとしてヘアメイク・衣装着付け等の業務の実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	必要な洋装に関する知識、ドレスフィッティングに関する知識・技術を実技授業の中で学び、向上させる。 知識や技術を接客に応用し、お客様の希望に沿った提案ができるようカウンセリング能力を養える授業を実施する。
授業の到達目標	ドレス・タキシード等の洋装に関する基本知識とフィッティング技術、小物の知識と身長・体系、お客様の希望に合わせた衣装提案をする力を習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ドレスの知識	2	ドレスラインの種類と特徴、ネックラインの特徴
ドレスのサイズ	3	サイズ表記の見方・種類、サイズの合わせ方の説明・理解
ドレスの小物	9	ブライダル小物と種類 ブライダル小物の付け方 復習、確認テスト
ドレスの運び方 パニエの片付け方の理解	4	ドレスの試着の知識 ドレスの扱い方・持ち方、パニエの片付け方、ドレスとパニエのセッティング
ドレスとパニエの セッティング	2	美しく着付ける為のセッティング
インナー装着	2	インナーの重要性理解フィッティングのデモンストレーション(相モデルでの実践)
ドレスフィッティング ドレスチェンジ	8	パニエのはかせ方、ドレスの着せ方 相モデルで実践 1着目から2着目へのチェンジの仕方
タキシード	24	タキシードの知識、サイズ、試着の知識、サイズ合わせ、セッティング タキシードのフィッティング タキシードの片付け方 確認テスト 復習

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	衣装(和装)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	189	72	90

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
ブライダルスタイリスト・美容師・メイクアップアーティスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、結婚式場・ブライダルサロン・ドレスショップ・美容室等にて、ブライダルスタイリストとしてヘアメイク・衣装着付け等の業務の実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	必要な和装に関する知識、和装着付けに関する知識・技術を実技授業の中で学び、向上させる。知識や技術を接客に応用し、お客様の希望に沿った提案ができるようカウンセリング能力を養える授業を実施する。検定対策も行う。
授業の到達目標	和装に関する基本知識と着付けの基礎技術、小物の知識と身長・体系、お客様の希望に合わせた衣装提案をする力を習得することを目標とする。 検定合格レベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
着物・着付けの知識	11	着物の基本(着物の名称、着付の道具、小物知識) 留袖の知識、振袖の知識、白無垢の知識 色打掛の知識、引き振りの知識 着物の知識、家紋について、子供の着物、帯の種類 確認テスト
留袖	119	準備・セッティング・片付け方法 長襦袢の着せ方 裾の合わせ方、衿の合わせ方、おはしよりの作り方 帯の結び方～帯枕まで 留袖トータルの仕上がり 帯アレンジ、訪問着 確認テスト、復習
下着補正	2	肌着・裾除け・足袋の着せ方 タオル補正・コットン補正の仕方
振袖	69	補正・長襦袢の着せ方、裾・衿の合わせ方 帯の結び方～帯枕 振袖トータルの仕上がり 振袖トータル確認 補正～長襦袢復習、振袖復習、帯結び復習 創作帯結び(変わり立て矢)、帯アレンジ 帯揚げ、帯締めアレンジ 確認テスト
白無垢	75	白無垢とは 補正の仕方 長襦袢の着せ方(衿・裾) 掛下(衿・裾)合わせの仕方、掛下裾入れの仕方 補正から掛下伊達巻 帯の結び方～帯枕 帯の結び方～仕上げまで 筥迫・懐剣・末広・抱え帯の付け方 確認テスト、復習、弱点強化
紋付袴	23	紋付の知識 補正の付け方、長襦袢の着付け方、長着の着付け方 角帯の結び方 袴の着付け方、羽織の着付け方 トータル 確認テスト

具体的内容		
項目	時間	内 容
女袴	18	女子袴の知識、道具の理解 補正の仕方、長襦袢の着せ方、着物の着せ方 半幅帯の作り方、袴の着せ方、タイム計測 確認テスト 確認テスト結果を基に弱点強化
衿付け	4	裁縫の理解、半衿のつけ方(アイロンかけ、待ち針うち、縫い付け)
引き振袖	22	補正・長襦袢の復習、引き振袖の着付け方 帯の結び方、5点セットの付け方 (立て矢)5点セット 確認テスト、復習
帯結び	8	二重太鼓

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	衣装(アテンド)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	21	32	0

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
ブライダルスタイリスト・美容師・メイクアップアーティスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、結婚式場・ブライダルサロン・ドレスショップ・美容室等にて、ブライダルスタイリストとしてヘアメイク・衣装着付け等の業務の実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	必要なアテンドに関する知識、アテンドに関する知識・技術を実技授業の中で学び、向上させる。得た知識技術によってスムーズなアテンド業務ができるよう授業を実施する。
授業の到達目標	ブライダルにおけるアテンド業務に関する基本知識と基礎技術、それぞれの場所・状況・お客様の違いに応じたスムーズなアテンドを提供する力を習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
アテンド業務	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アテンドの業務内容、役割</li> <li>・業務を行う際の注意</li> <li>・神父立ち振る舞いのアドバイス方法</li> <li>・確認テスト</li> </ul>
洋装アテンド	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドレスの持ち方、持たせ方、トレーンの広げ方</li> <li>・靴の履かせ方、歩き方</li> <li>・誘導方法、ポージング方法</li> </ul>
和装アテンド	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和装の際の褌の持たせ方</li> <li>・和装撮影アテンド、ポージング方法</li> <li>・白無垢、写真撮影、片付けの実践</li> </ul>
新郎アテンド	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新郎立ち居振る舞いのアドバイスの方法と理解</li> <li>・新郎の立ち方、エスコート</li> </ul>
衣装チェックポイント	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式当日、撮影の際のチェック項目</li> <li>・復習</li> </ul>
挙式中のアテンド	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挙式アテンドの役割、挙式アテンドの動き、挙式内容の理解</li> <li>・グローブ、ブーケを受け取るタイミング、トレーンのさばき方</li> <li>・実践、確認テスト</li> </ul>
撮影アテンド	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影の際の役割</li> <li>・衣装、ヘアメイクチェックのポイント復習、移動時のアテンド</li> </ul>
アテンダーの資質	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アテンダーに必要な資質</li> <li>・身だしなみの復習、持ち物</li> <li>・アテンドのチェックすべきポイント</li> </ul>
トラブル対応	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドレストラブルの対処法</li> <li>・和装トラブルの対処法</li> <li>・ロケーション撮影のトラブル対応</li> </ul>

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	知識(ブライダル知識)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	21	0	56

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
ブライダルスタイリスト・美容師・メイクアップアーティスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、結婚式場・ブライダルサロン・ドレスショップ・美容室等にて、ブライダルスタイリストとしてヘアメイク・衣装着付け等の業務の実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ブライダルに関する基礎的な知識・衣装・ヘアメイクに関してを学ぶ。また、その知識や他の授業で学ぶ、衣装やヘアメイク等の技術を連動させ、お客様の要望をうまく引き出せるようなカウンセリング力、接客力も同時に向上できるような授業を行う。
授業の到達目標	洋装・和装、婚礼衣装の基礎知識の理解、ヘアメイク・衣装のカウンセリング力の習得、フォーマル衣装の知識、ブーケ・お花の知識の習得、アテンドの知識の習得を目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
結婚、結婚式とは	3	結婚の定義、結婚・婚姻・婚約・入籍の違いについて ブライダル商品の特講、結婚式に携わる心構え
ブライダル業界	4	ホテル、式場、ゲストハウス、レストランの特徴、ブライダル関連企業についての理解 ブライダルスケジュールの理解
式の種類	2	挙式のスタイルの知識・理解
挙式の知識	4	キリスト式の流れ 人前式の流れ
披露宴	3	披露宴の流れの理解
一般常識	3	一般常識(お見合い、顔合わせ、結納)の理解
ブライダル用語	4	ブライダル業界で使われる言葉の理解
復習	4	テスト対策
婚礼衣裳業界について	4	ホテル、式場、ゲストハウス、レストランの特徴、関連企業についての理解
新婦の衣裳知識	8	ドレスの歴史、ドレスのデザイン、小物について(ベール、グローブ、シューズ、アクセサリ等) 新婦和装、確認テスト
新郎の衣裳知識	5	洋装の歴史と洋装の種類、各部位の名称 新郎和装
列席者の衣裳	5	両親、媒酌人夫婦の衣裳、その他列席者の衣裳、確認テスト
ドレスコーディネーター業務	11	貸衣装、セルドレス、オーダードレス 受付、カウンセリング 衣装選択、フィッティング技術 トータルコーディネート、アテンドテクニック お直し、メンテナンステクニック、ディスプレイ技術、商品管理、搬入出 必要書類作成、ドレスコーディネーターに求められるスキル
復習	4	テスト対策
ブライダルフラワー	4	フラワー業務、アイテム、確認テスト
検定対策	9	練習問題解説 模擬テスト 復習

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	知識(フラワー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	6	6	0

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
—	—

授業内容	
授業概要	ブライダルスタイリストとして必要なフラワーに関する知識・技術を学ぶ
授業の到達目標	ブライダルに関するフラワーの知識・技術の習得

具体的内容		
項目	時間	内容
フラワー知識	6	お花のヘッドパーツについて 歴史、習慣と花言葉 生花と造花の違い、ブーケの知識
実践	5	生花基礎、応用 ヘアードの作成 髪へのセット方法
確認テスト	1	テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	知識(パーソナルカラー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	0	0	50

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	色に関する知識を学ぶ。似合う色の根拠を把握し、目的に応じた色の演出効果を理解することで、お客様一人一人の似合う色(衣装の提案等)の提案をできるような技術を当該授業にて身に付ける。検定取得対策も実施する。
授業の到達目標	色についての基本的な知識の理解、色の知識をその他の授業の中で役立て衣装の提案等に活用できるようになること。 検定合格レベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
基礎学科	19	パーソナルカラーとは何か:板書、解説 色が見える光の条件:板書、解説 色が見える物体の条件:板書、解説 色が見える視覚の条件:板書、解説 色の基礎知識 色の三属性:板書、解説 PCCS表色系について トーン表の作成 色の基礎知識 清色と濁色:板書、解説 色の属性の見極めレッスン フォーシーズン色の解説 フォーシーズンの特徴の解説 基本の配色方法:色相配色 基本の配色方法:トーン配色 色相、トーン配色の演習 色彩調和論(人名、説の解説と板書、ライン引き) 復習、確認テスト
実技基礎	8	パーソナルカラー分析の考え方 色の属性が肌に与える影響:板書 ドレーピングとは(解説) ドレーピングのやり方(デモ) カラー診断の実習 フォーシーズンの見本帳の作成
実技	4	フォーシーズンヘアメイクカラー 配色技法の演習
模擬問題	6	色の見極め(問題作成) 問題実施 問題の解答と解説 復習プリント
模擬試験	13	過去問題、解答解説、総まとめ

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。



基本情報			
講義名	知識(ユニバーサルマナー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	8	0	0

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	高齢者や障がい者に歩み寄れるようなスキルや知識、こころづかいを身につける。 職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる。
授業の到達目標	卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。 検定の合格。

具体的内容		
項目	時間数	内容
ユニバーサルマナーとは	2	ユニバーサルマナーとは 高齢者や障害者への向き合い方 どんな人がどんなことに困るのか？ 困った時のお声かけ方法
知的障害者・精神障害者サポート	1	知的障害者・精神障害者へのサポート方法
グループワーク	1	シーン別のケーススタディ(グループワーク)
車いす利用者サポート	1	車いす利用者への実践的なサポート方法
視覚障害者・聴覚障害者サポート	1	視覚障害者、聴覚障害者への実践的なサポート方法
高齢者サポート	1	高齢者への実践的なサポート方法
試験前の総復習	1	今までの復習

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	知識(マナー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	12	6	51

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	サービスに対する心構えや顧客心理の理解、応対の技術、言葉遣い、立ち居振る舞いなどを学ぶ。職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる。
授業の到達目標	卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、社会人としてプライダグにおける接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
マナーとは	6	マナーとは何か マナーの歴史と意味 国際人としてのプロトコール 復習、確認テスト
社会人に必要なマナー	6	好印象を与えるコミュニケーションとは 確認テスト
ビジネスシーンでのマナー	6	ビジネスマナーの必要性 名刺の扱い方、電話対応、来客対応 確認テスト
復習	5	復習
食事のマナー	19	食事の作法の基本 和食のマナー、和食の作法 西洋料理のマナー 中国料理、各国の料理マナー 総まとめ
冠婚葬祭	27	「冠」のしきたり、「婚」のしきたり、「葬」のしきたり、「祭」のしきたり 確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	知識(SNS)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	0	0	48

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	近年個人、企業において頻繁に利用されるSNSに関する知識、利用活用方法について学ぶ。
授業の到達目標	SNS使用における基礎知識、動画作成の知識習得を目標とする

具体的内容		
項目	時間数	内容
基礎知識	6	SNSにおける基礎知識
SNS活用の基礎	2	企業、団体SNS活用の基礎
SNS活用の実践	40	SNSにUPするヘアメイク作成、撮影 SNSにUPする動画作成における基礎知識 SNSにUPする内容の企画 企画内容を基にヘアメイクの作成、撮影

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	サロン	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	40	402	104

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	実際にお客様への接客や、技術提供をすることで実践的な経験を積むことができる。また、単体で動くのではなく、組織として役割を持ちその中でどう動くのかを自ら考える力を本授業で学び向上させていく。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営に関する理解することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
サロン授業	136	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明(サロン実習の目的、今後の流れ)</li> <li>・業務内容</li> <li>ウエディングプランナーの業務内容</li> <li>ブライダルスタイリストの業務内容</li> <li>ドレスタグ・在庫管理の方法、外部発注の流れ</li> <li>新規接客の流れ理解、新規接客シミュレーション</li> <li>来店～施行までの一連の流れの確認と理解</li> <li>使用書類について、準備～打合せの流れの確認と実践</li> <li>参列者の荷物の預かり、管理</li> <li>施行当日の流れ、改善と改善点の共有</li> <li>衣裳・ヘアメイクカウンセリング</li> <li>衣裳メンテナンスの仕方(洋装和装)</li> <li>ヘアメイクリハーサルの流れ</li> <li>サロン実習の振り返り</li> <li>コミュニケーションについて、仕事の進め方</li> <li>総復習</li> </ul>
接客テスト	12	トータルでの入客シミュレーション
サロン実習	398	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営の仕組みの理解、数字への意識</li> <li>お客様への気配り、接客力</li> <li>振り返り、レポート作成</li> </ul>

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	体験	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	0	0	24

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
—	—

授業内容	
授業概要	ブライダルの実際の現場での撮影等の体験をする。
授業の到達目標	ブライダルの実際の現場での撮影等の体験を通して、ブライダルスタイリストとしての仕事を体感することで将来に向けてのイメージを付けられるようにすること、現場での知識の習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
知識	6	婚礼のロケーション撮影について、業務の流れ、お直しについて 婚礼のスタジオ撮影について、型物撮影の知識
現場見学	6	実際の現場を見学
実践	12	ロケーション撮影、スタジオ撮影

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	HR	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	223	227	235

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒間のコミュニケーション向上。</li> <li>・コンプライアンスや一般常識、社会の危険知識を身に付ける。</li> <li>・イベントを通して美容の面白さや、多くの人との関わり合い・協調性を身に付ける。</li> </ul>
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生生活での一般常識や守らなければならないこと、チームで力を合わせ取り組む姿勢、社会に出てからの一般常識や危険性の知識習得を目標とする。</li> </ul>

具体的内容		
項目	時間数	内容
リーダー任命式・セミナー	18	・生徒間コミュニケーション向上、学校ルール
バルコレ	37	・作品の製作、技術訓練、発表
防災対策	18	・消防署からのアドバイス、訓練、災害種別による避難
防犯対策	22	・犯罪被害予防、不審者、不審物、スニーカー被害
薬物乱用	12	・薬物の危険及び影響、薬物や有機溶剤及び医薬品の乱用
コンプライアンス	12	・コンプライアンスの意味、法令に係る道徳や倫理
社会貢献	32	・地域活動、地域行事参加
マナー	12	・言葉遣い、服装、電話応対、来客対応
ビジネス文書	4	・挨拶文、宛名の書き方、メール
SNS	38	・フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、LINE、の特徴や危険性、対処
冠婚葬祭	9	・慶事、弔事、贈答
仕事・組織	8	・チームでの仕事、仕事の進め方
職場生活	8	・整理整頓、勤務態度行動
個別弱点強化	280	・個々の苦手科目強化及び指導
進路相談	12	・希望就職先、職種類
特別講習	131	・卒業生やサロン 企業従事者による講義
ハラスメント	18	・セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、具体例、防止、復習
コミュニケーション	14	・社会人・組織のコミュニケーション

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	マナー	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	10	10	10

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	サービスに対する心構えや顧客心理の理解、対応の技術、言葉遣い、立ち居振る舞いなどを学ぶ。職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる。
授業の到達目標	卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
サービススタッフの資質	2	サービススタッフに求められる資質
専門知識	3	サービスの現場における行動
一般知識	3	サービス業で使うことわざ・慣用句、季節行事と食べ物・カタカナ用語
対人技能	3	接客用語、敬語の記述問題
実務技能	3	掲示物の書き方・イラスト問題、クレーム対応、社交業務
理論編復習	4	理論編確認テスト実施、解説と解答
実技編復習	4	実技編確認テスト実施、解説と解答
直前対策	4	模擬テスト、解説と解答
面接対策	4	面接の審査基準とポイント、面接の流れ、部分動作の練習 面接シミュレーション

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	就職	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	18	81	0

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	希望する就職先に入る為の就職活動をする上での対策・マナーの学習はもちろんのこと、自分の将来を考えた上での企業の選定方法や選定する上で気を付けなければならないことを学ぶ。
授業の到達目標	生徒が持っている将来像をはっきりとしたものにさせ、その将来像を目指すにあたっての企業選定や、就職活動をする上での対策やマナー等を習得させ、より良い就職をさせることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
業界知識	3	業界の現状、職種・業種について
活動の流れ	2	就活の流れ、今後のポイント、過去(卒業生)の実績
自己分析	15	自らがなりたい未来を分析、ミライ年表の作成 自身の振り返り、自己PR 就職活動における自身の条件 他己分析、自己PR 在学中最も力を入れたこと
インターンシップ	10	インターンシップについて、振り返り
面接	40	グループ面接、グループディスカッション 模擬面接 WEB面接 外部面接
企業研究	20	各業種・職種の復習 就活サイトについて 企業研究とは レポートを基にプレゼン 企業情報を集め、適切な志望動機を書く 会社説明会について 校内ガイダンス 企業情報の収集と自己PR
書類関連	7	履歴書とは、書き方 自己分析、その他書類 証明写真について
内定後	2	内定について、内定後について

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。



